

「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」と日立市内国際交流関連団体との交流記録 2020年3月～

◆第160～162回日立国際交流協議会企画部会に参加【9/24・10/29・11/26 日立市役所】
日立国際交流協議会は日立市が事務局を務めている団体で、国際姉妹都市交流や在住外国人支援などの活動を行っています。

160～162回の会議では、外国人が住みやすいまちづくりを進めるための取り組みとして、外国人への効果的な情報発信、防災・災害時の対応について具体策を検討しました。また、例年実施している在住外国人向けの市内の施設を見学してもらう催しについても開催する方向で検討しました。

※「在住外国人向けの市内施設を見学する催し」については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となりました。

◆永山着装学園にお礼訪問【11/17 永山着装学園】
第18回ひたち国際文化まつりにおいて、「日本のきもの文化・豊かなきものの伝統を知ろう！」のコーナーを設け、着物や人形を展示・解説していただいたお礼に伺いました。長年、市内で着物の着付けを教えていた永山着装学園は、2020年12月をもって終了されました。お疲れさまでした。

情 報 コ ー ナ ー

「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」会員募集

アジアを中心とした国々の文化・芸術を広める活動（講演会や料理サロンなど）を行なっています。国際交流に興味がある方、ぜひ一緒に活動しましょう。

活 動 日 毎月第3金曜日 午後1時30分から午後3時まで（定例会（会議）、予定）
※その他、年に数回イベントを開催します。
会 場 日立シビックセンター
会 費 無料（催しにより参加料がかかる場合あり）
お申込み 随時受付（TEL：0294-24-7711）



過去の「料理サロン」の様子

関連団体のイベント・活動を紹介するコーナー（2021年1月～2021年3月）

主 催	タイトル	日 時	場 所	問い合わせ先
フレンドリー あんず	外国人のための 生け花クラブ	毎週水曜日 10:00～11:30	教育プラザ	0294-21-4150(福地)
	日本語教室	毎週火曜日 19:00～20:45	女性センター	0294-42-4448(庄司)
		毎週金曜日 14:00～16:00	教育プラザ	0294-36-5440(長山)
国際交流 ボランティア ネットワーク さくら	日本語教室	毎週木曜日 10:00～11:30	教育プラザ	0294-34-6257(臼井)
		毎週土曜日 10:00～11:30	女性センター	

※新型コロナウイルス感染拡大により、中止となる場合があります。

活動記録 (2020.10～2021.1)

◆活動推進部会（定例会）
各月第3金曜日 10/16、11/27
・広報チーム 10/23、11/27、1/27
・料理チーム 10/7、10/10
・研修見学チーム 10/28

◆令和2年度会員 130人（1/31現在）
うち活動推進部会 37人

編集後記

「第18回ひたち国際文化まつり」は、7月に行われた第1回実行委員会では、開催中止も考えていました。しかし、できる範囲で開催すべきとの参加各団体の熱い思いに従い、展示を中心とした形態で開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し無事に開催、そして終了できたことに意義があったと思います。次回はどのようになるか分かりませんが、従来のような形で、にぎやかに開催できることを願うばかりです。（小澤記）

～広報紙「ひたちとアジア」は日立シビックセンターホームページでもご覧になれます～
《お問合せ/入会希望など》 ひたちとアジアの文化交流をすすめる会事務局

〒317-0073 日立市幸町1-21-1 日立シビックセンター内
TEL:0294(24)7711 FAX:0294(24)7970 E-mail:salon@civic.jp

ひたちとアジア

第65号

2021年（令和3年）2月

発行：ひたちとアジアの文化交流をすすめる会 広報部会

第18回ひたち国際文化まつり 開催 コロナ禍でもグローバルな出会いをありがとう！

2003年から始まった「ひたち国際文化まつり」は、市内の国際交流団体の協力の下、毎年秋に日立シビックセンターを会場に当会が中心となって、実行委員会を組織し開催してきました。

令和2年は、世界中がコロナ禍であり、果たしてこの状況下で開催できるのか、そもそも開催するべきなのかについて、何度も協議を重ねました。そして協議の結果、「継続して開催することが大切だ。今、自分たちにできることをしよう。」という思いから、スタッフはもちろん来場者の方々の感染防止対策を徹底して、当会を含む市内の国際交流団体9団体の共催と、県内の4団体の協力を得て、無事11月15日（日）に開催しました。（展示コーナーは、11/11～15開催）



さまざまなイベント風景：左上から各国の国旗、ギャラリー展示、受付、着物の展示、写真撮影コーナー、体験コーナー

1 階ギャラリーと会議室では、当会をはじめカンボジアの子ども達に夢と希望を贈る市民の会、ひたち生き生き百年塾推進本部、フレンドリーあんず、そして今回初参加となる JICA 筑波による各団体の日頃の成果をまとめた展示や、アジアの手工芸品の展示即売、体験コーナーなどを行ないました。また、日立さくら日本語学校の留学生による家庭料理の紹介や歌とビデオレターによる「日本語で歌つなぎ」の上映、日立市日中友好協会によるパンダの絵画コンテストや写真撮影コーナーなども行ない、幅広い多くの方に参加していただきました。

2 階多用途ホールでは、国際交流ボランティアネットワークさくらによる外国人の皆さんが日本語で祖国についてお話しする異文化アラカルトや、当会のアジア文化講演会を行ない、多くの方が耳を傾けていました。そのほか、永山着装学園による着物文化や伝統を知るコーナーも盛況でした。

5 階では、日立国際交流協議会が外国人向け無料相談会を開催し、市内在住の外国人の方が多数相談に訪れました。

人気のある飲食関係の販売は今回はできず、来場数も延べ900人と今までと比べ多くはありませんでしたが、展示方法などにも工夫を凝らし、来場された皆様にも好評でした。さらに国際交流の楽しさ、素晴らしさを多くの方に知っていただけるよう、これからも取り組んでいきたいと思っています。

〔イベントの詳細は2～3ページで紹介〕

1階 ギャラリー

「アジアの一押し」/「フィリピンの今」写真展

当会では、一般の皆さんから公募したアジアの国の一押しの写真を展示しました。約30件の応募があり、来場者からは、「懐かしく感じられた」、「国際的なものに興味を持つことができた」との声をいただきました。



「アジアの一押し」写真展

また、2020年2月に当会の有志がフィリピンを訪問した際の写真の展示も行ないました。このフィリピン訪問時の様子は、当会広報紙第63号に掲載されています。

カンボジア写真展

カンボジアの子ども達に夢と希望を贈る市民の会では、カンボジアで長年続けてきたサッカー大会や学校訪問、人々の暮らしを紹介しました。

ラオスの写真展 / 遊びの広場

フレンドリーあんずでは、ラオスの私立ハークケオ小学校が修学旅行で日立市を訪問した際の写真やラオスの小規模図書館の様子、タイの難民キャンプの様子を紹介しました。

遊びの広場では、ベトナムで遊ばれている竹とんぼなどの展示紹介やアジアの手工芸品の販売をしました。来場した子どもたちは、日本の竹とんぼとは異なるベトナムの竹とんぼに興味津々でした。

日立の子どもと世界の子どもとの交流

ひたち生き生き百年塾推進本部では、市内の小中学校に届いた国際姉妹都市の子どもたちの素晴らしい写真とお便りの展示を行ないました。

ビデオでアジア料理サロン



バインセオ調理の様子

ベトナム人留学生による家庭料理「バインセオ」の作り方をビデオで紹介、そのレシピも配布し好評でした。

日本語で歌つなぎ

日本への留学を志す多くの学生が不安を抱えています。そこで日立さくら日本語学校では、来日を持たされている留学生たちに「今できることは何か」を考え、歌とビデオレターを作成し紹介しました。

「JICA海外活動写真」展示

今回が「ひたち国際文化まつり」に初参加となったJICA筑波では、日立市出身の協力隊員による、発展途上国での活動の様子を紹介しました。



JICA展示ブース

1階 会議室

パンダの広場

日立市日中友好協会では、市内の小中学生が描いたパンダの絵約320点を部屋一杯に展示しました。それぞれのパンダへの思いが感じられる素晴らしい作品ばかりでした。



パンダの絵画コンテストの様子

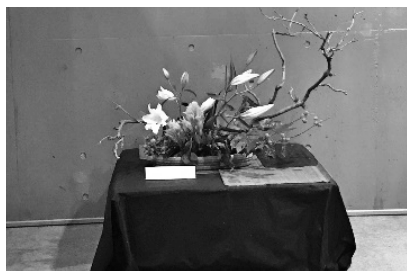
また、パンダの故郷の景色を再現した写真撮影コーナー、パンダクイズのほか、パンダのキーホルダーの無料配布などもあり、お子様連れなど多くの来場者に楽しんでいただきました。特に、大きなパンダのぬいぐるみとの写真撮影サービスは大人気でした。

日立の街にも、いつか本物のパンダが来てくれることを願って！

各フロア

外国人の生け花展示

フレンドリーあんず主催の「外国人のための生け花クラブ」で学んでいる外国人の方による生け花が飾られ、華やかな雰囲気醸し出していました。



会場に飾られた生け花



5階 会議室

在住外国人向け無料相談会

日立国際交流協議会では、弁護士、保健師、ケースワーカー、通訳（英語、中国語、ベトナム語、タガログ語など）が入り、在住外国人の方の生活上の悩み、子育てトラブル等に関する相談会を実施しました。

2階 多用途ホール

インターナショナルカフェ

国際交流ボランティアネットワークさくらでは、例年、「外国人の皆さんによる日本語意見発表会」を行なっていましたが、今回は、広く募集したり、出場者の発表練習が十分にできないことから、パネルディスカッション形式に変更して行いました。パネリストは、アジア圏出身（中国、ベトナム、フィリピン）の方4名が、コーディネーターは、日立国際交流協議会副会長の神永敏光氏が務めました。パネリストは、「災害」、「教育」、「食」について、自国の文化や自身の体験を基に発表しました。



進行の神永氏と4名のパネリスト

その発表を受け、会場からも体験談や質問が飛び交い、神永氏のスムーズな進行のもと、和やかな雰囲気の中で充実した時間となりました。

アジア文化講演会 「実践！多文化共生—私たちにできることを考える—」

講師 横溝 環（茨城大学人文社会科学部准教授）

本講演会は、当初5月に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となりました。そこで改めてお願いしたところ快諾いただき、当初予定していた内容に今の現状に即した内容も交え「第18回ひたち国際文化まつり」の中で講演いただけることになりました。



横溝先生による講演の様子

講師の横溝先生は、異文化コミュニケーション、多文化関係学を専門とし、『フェイス相互作用論』など多数の著書も出版。現在は、15年以上にわたる日本語教師の経験を活かし、多文化共生社会の実現を目指して実践的に活動に取り組まれています。

はじめは、2014年茨城大学着任当初の大洗町との関わりについてお話しいただきました。

大洗町の人口に対する外国人の比率が、日立市の1%に対し5%と高いことから、横溝先生は、外国人の生活調査等をする中で日本語学校の必要性を感じ、地域の方々と人間関係を築きながら関係機関と調整し、開校まで至りました。コロナ禍の現在、日本語学

日本のきものの文化・豊かなきものの伝統を知ろう！

永山着装学園の協力を得て、例年、着物の着付け体験を行なっていましたが、今回は衣裳展示（花嫁衣裳・振袖・七五三の衣裳など）と、帯で作った花々の展示をメインとしました。

そのほか、永山着装学園所有のコレクションである数多くの和服（水戸藩の袴など）と日本人形の展示、着物で作ったマスクをする日本人形それらの解説も行いました。



着物で作ったマスクをする日本人形

手作りした「アマビエ」や、着物を再利用して作った、大きなマスクをつけた可愛い日本人形たちがテーブル上にたたずむ姿には、時節柄多くの来場者からは笑みがこぼれ、大変好評でした。

校の授業はオンラインで開催しているとのこと。

また、日立市からも参加実績のある外国人による日本語スピーチコンテストを開催するなど、日立市とも関わりがあり、茨城大学日立キャンパスの学生を地域住民とつなぐ活動もされました。

「外国人との交流のきっかけは、身近な一人とのつながりであり、そこから協働・巻き込む・意見調整、そして感謝と笑顔である」と、体験から学んだ説得力のあるお話しでした。

最後に、茨城大学工学部大学院で学ぶ、シリア出身のムハンマド・ナジーブ アルヘブラウィ氏との対話がおこなわれました。ナジーブ氏は、「日立市に来たばかりで困ることもあり、英語など得意な



左から横溝先生、ナジーブ氏

ことでサポートするので相互に助け合いたい」と希望されていました。講演終了後には何人もの方がナジーブ氏と一緒に来場していたナジーブ氏の家族を囲み、サポートを申し出ていました。

日立市にも外国人の方が増えていくであろうことを考えると、「実践！多文化共生」が、まさに大変重要なことであると感じました。